



第42回通常総会を開催

平成27年度決算関係書類を承認

平成28年度事業計画、収支予算案等を承認



発行所

東京都千代田区内神田1-12-3

神田トラック運送事業協同組合

電話 3259-9977(代)

FAX 3259-9988

神田トラック運送事業協同組合は6月15日(水)午後4時より、ホテルメトロポリタンエンドモントにおいて第四十二回通常総会を開催した。

司会の白川事務長が開会を告げ最初に平岡理事長より次のような挨拶があった。

『本日は、神田トラック運送事業協同組合第四十二回通常総会にご出席頂き誠に有難うございます。現在、総会シーズンもたけなわですが、先日は上部団体であります、

日貨協連の全国大会が四日市で開催され参加してまいりました。出席者は全国から400名と盛況でした。来賓には全ト協の星野会長も出席され、今後も全ト協と日貨協連と親しくしていかなくてはいいけないと挨拶されておりました。

他には東ト協連の総会に参加してまいりましたが、燃料とETC事業が協連のメインになっておりまして、燃料については去年に比べて3倍の利用量になっているとのことでした。東ト協連の決定価格は、全国のプライスリーダーになっており、1%の値下げも大変な努力がいるという現状のようです。ETC事業に至っては、管理者研修会を定期的に開催し事故防止等に努力しております。

また利用金額が、前年度より2.6%上昇と若干増えているという報告がありました。

景気の問題があつて、お客様との料金交渉の問題に大変運送会社苦勞しているというお話もあつて、値上げの幅を5%〜10%未満でなんとか値上げしていただけないかという希望が多いようでした。

一方的な値下げを荷主から受けたという方々も結構いらつしやいます。まだ6割強の事業者が値上げ交渉したいけれども、動けないという事も分析されております。そんな中、神トラは組合員様の力

添えになるよう一生懸命努力しておりますが、よその協同組合もそれなりに色々な努力をされているのだと感じました。

神トラでは、総会資料にもある通り別納事業の利用金額が46億2千万円を超えています。これは凄いことであり、大手組合員様を始め大変多くの組合員様のトラックが日本各地を走らせていらつしやると言うことが結果に繋がっているのだと思います。

まだまだ運送業界に問題は山積しておりますが、今年度も引き続き組合員様の要望に応え、少しでも前進できるよう組合として努力していく所存でございます。』



司会者より本日の総会の出席状況について次の通り報告があり、本通常総会は定足数を満たし有効に成立したことを告げた。

組合員総数	89社
本総会出席組合員数	21社
委任状提出の組合員数	56社
合計	77社

引き続き本総会の議長の選任に移った。

司会者は議長の選任について議場に諮ったところ、満場一致をもって平岡理事長が選任された。

平岡理事長は直ちに議長席に着き、議案の審議に入った。

第1号議案 平成27年度事業報告書並びに、決算関係書類承認の件

議長は平成27年度の決算関係書類とは、財産目録、貸借対照表、損益計算書、及び剰余金処分案を指すことを説明し、白川事務長に説明させた。





旧理事氏名 榎日本運搬社
新理事氏名 村上 誠司

平成27年6月第41回通常総会において選出された理事が、その後転出、退任等により氏名変更が発生致しました。
就任中には組合事業等へのご協力、ご功績を賞し感謝申し上げます。

理事氏名変更の件

お知らせ

◎7月5日
・出資配当金及び利用分量配当金支払

ETC 20 研究委員会開催
総会にて決議された、ETC 20 車載器購入支援として交付す助成金等について討議



総合警備保障(株)
旧理事氏名 佐藤 実
新理事氏名 齋藤 広明



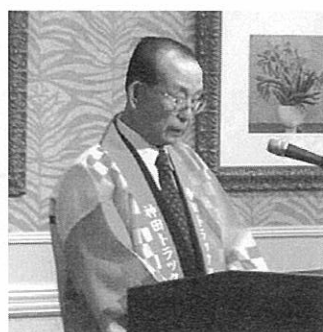
日本郵便輸送(株)
旧理事氏名 石井 正美
新理事氏名 井田 康夫



役員名簿

(敬称略)

役 名	氏 名	社 名	役 職 名	備 考
理 事 長	平岡 祐介	丸天運送(株)	代表取締役	
副 理 事 長	赤尾 裕功	(株)マルカン	代表取締役	
常 任 理 事	菅沼 進一	(株)エスシーホールディングス	代表取締役	外
	澁谷 隆義	(株)ユニコム	代表取締役	外
	原島 藤壽	カンダホールディングス(株)	専務取締役	外
	村上 誠司	(株)日本運搬社	取締役管理本部長	新 任
	宮入 武彦	中央通運(株)	代表取締役	
	井田 康夫	日本郵便輸送(株)	業務部長	新 任
	鈴木 茂美	明治ロジテック(株)	常務取締役	
	森本 岳	(株)マルノウチ	管理統括部長	
	田中 敏之	新聞輸送(株)	代表取締役	
	平岡 英介	明治運送(株)	代表取締役	
	佐藤 克典	サトランス(株)	代表取締役	
	矢萩 嘉宏	矢萩運輸(株)	代表取締役	
	小林 敏雄	名鉄ゴールデン航空(株)	取締役管理本部長	
	土屋 洋一	カンダコーポレーション(株)	取締役総務部長	
	齋藤 広明	総合警備保障(株)警送東京支社	副支社長	新 任
	長谷川 鐵也	(株)丸正	専務取締役	
	坂井 正人	三和運送事業(株)	代表取締役	
	宮本 徹夫	(株)スガマートランスポート	代表取締役	
	堀本 幸美	丸万協立運送(株)	代表取締役	
	山下 政博	(株)タイヨリックテム	代表取締役	
	櫻井 信行	櫻井倉庫(株)	代表取締役	
	濱野 彰彦	三洋包装運輸(株)	代表取締役	
	原島 望泰	カンダホールディングス(株)	取締役相談役	



通常総会終了後、総会出席者全員による懇親会が、山下理事のもと、賑やかに催された。



次いで議長は濱野監事に監査報告を求めた。
濱野監事は次の通り監査報告を行った。

「中小企業等協同組合法第40条第5項により、平成28年5月10日組合事務所において、理事から提出された、平成27年度財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案を監査した。
なお、本組合の監事は、定款第30条（監事の職務）に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告書を監査する権限を有していない。
決算関係書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会い、照合及び理事からの報告の聴取その他通常とるべき必要な方法を用いて調査した。
その結果として、財産目録、貸借対照表及び損益計算書は法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況を正しく表示しているものと認める。又剰余金処分案は、

法令及び定款に適合しているものと認める。」
議長は第1号議案を議場に諮ったところ、満場一致をもって原案通り承認可決された。
第2号議案 平成28年度事業計画案、収支予算案の承認並びに賦課金及びその徴収方法決定の件
議長は第2号議案について白川事務局長に説明させた。
事務局長の説明後、第2号議案を議場に諮ったところ、満場一致をもって承認可決された。
第3号議案 平成28年度に於ける借入金金の最高限度及び一組合員に対する貸付金最高限度決定の件
議長より、第3号議案について組合の借入最高限度を昨年度同額の12億円、一組合員に対する貸付限度を賞与資金80万円、車輛購入資金80万円、両資金の合計貸付限度を1千万円と説明した。
これを議場に諮ったところ、満場一致をもって原案通り承認可決された。
第4号議案 平成28年度加入金額決定の件

会議等開催報告

◎第1回理事会
日時 平成28年5月26日
場所 組合事務所 出席17名
1 報告事項
① 組合員消息
② 業務報告
・組合員借入金利息支払いが終了した旨報告
③ 事業及び収支報告
平成28年2月より3月までの事業及び月次決算について報告
2 議題
① 第42回通常総会提出議案について
・平成27年度決算関係書類承認の件
・平成28年度事業計画案、収支予算案の承認並びに賦課

金及びその徴収方法決定の件
・平成28年度における借入金金の最高限度及び一組合員に対する貸付金最高限度決定の件
・平成28年度加入金額決定の件
協議の結果、原案通り承認され通常総会に提出することになった。
② 平成27年度利用分量配当金事業別配分案について
本件について説明し、承認される。
③ 通常総会開催日時について
平成28年6月15日（水）午後4時より、ホテルメトロポリタンエンドモント会議室にて開催されることが承認された。
④ 熊本地震義援活動について
東ト協連取り纏めの熊本地震義援活動に賛同し、3万円支援することで承認された。
3 その他
・理事退任の件、後任新理事について
別紙資料に基づき説明し、原案通り承認された。
・秋の研修旅行日程について説明
原案通り承認された。

平成27年度内組合員異動

- ◎加入組合員
・なし
- ◎脱退組合員
・なし

平成27年度内組合員異動

- ◎8月
・丸嘉運輸倉庫(株)
所在地変更
新住所 大田区平和島1-2-30
平和島PDセンター1

業務報告

- ◎5月20日
・消費税申告書提出 神田税務署
- ◎6月3日
・夏期賞与資金貸出
6社 総額四〇、五〇〇千円
- ◎6月20日
・法人税等確定申告書提出 神田税務署
千代田都税事務所
- ◎6月20日
・貨物利用運送取扱事業報告及び実績報告届提出 東京運輸支局
・中小企業等協同組合決算関係書類提出 関東運輸局
- ◎7月1日



行事日程の ご案内

秋の研修旅行

平成28年10月28日～29日
福島を巡る1泊2日の旅

第12回神トラゴルフコンペ

平成28年11月16日
鳳琳カントリークラブ

ETC20車載器

購入支援について

ETC20については、国土交通省において普及促進が進められていることから、NEXCO3社及び高速道路機構では、車載器購入支援を開始しております。

助成台数・助成金額

全国先着45万台 1台/1万円

これに伴い、第42回通常総会で決議されました通り、組合からもETC20車載器の導入を促進するため助成を実施することとなりました。助成予算額は、特別積立金より3千万円を上限とします。詳細につきましては、改めて利用組合員様にご案内いたします。

事業収入、経常利益及び利用分量配当金の推移

